

二〇一三年度大会の概況

日本思想史学会二〇一三年度大会は、十月一九日(土)・二〇日(日)の両日、東北大学川内キャンパスを会場として開催された。

第一日目は「越境する日本思想史―思想と文学の垣根越え」をテーマにシンポジウムが開催された。

司 会 (筑波大学) 中野目 徹  
(愛知県立大学) 大野 出

趣旨説明 (大会委員長) (国際基督教大学) 小島 康敬  
提 言 (九州大学名誉教授) 中野 三敏

パネリスト

和歌というメディア (国際基督教大学) ツベタナ・クリステワ  
宣長国学における歌

―敷島の歌・うひ山ぶみ・著書名― (神戸大学) 田中 康二  
戦後における思想史と文学史の交錯

―伊藤整を中心に― (東京大学) 荻部 直

コメント

(岡山大学名誉教授) 高橋 文博  
(九州大学名誉教授) 中野 三敏

シンポジウム終了後に総会が行われ、評議員より二〇一三年度事業報告および決算報告がなされ、それぞれ承認された。続いて二〇一三年度事業計画および予算案が提出され、それぞれ評議員案通り決定された。また、会長から第七回日本思想史学会奨励賞の発表と授与が行われた。受賞業績は次の作品である。

鈴木英之『中世学僧と神道―了譽聖岡の学問と思想―』  
田世民『近世日本における儒礼受容の研究』  
引き続き、川内の杜ダイニング(東北大学川内北キャンパス構内)にて懇親会が開催された。

第二日目のパネルセッション・研究発表の発表者と発表題目は以下の通りである(研究発表の副題省略)。

(第一会場)

1、古代日本における中華思想の形成について

- 2、『皇太神宮儀式帳』における神観念 (中国・中央民族大学) 蔡 鳳林  
 3、『もののははれ』再考 (皇學館大学大学院) 新田佳恵子  
 4、『孟子受容史の研究』についての若干の補遺 (国際基督教大学大学院) 大野ロベルト  
 5、『地蔵の化身』観の変遷 (中国・河南大学外語学院) 邱 璐  
 6、中世浄土教学形成過程における「偽書」について (金沢大学) 清水 邦彦  
 7、『共同体』論としての和辻倫理学 (早稲田大学) 鈴木 英之  
 8、『國體の本義』対『日本文化の問題』 (大阪大学大学院) 弓谷 葵  
 9、戦間期における内田良平の思想と大日本生産党 (京都産業大学) 植村 和秀  
 10、大衆の名のもとに (愛知学院大学) 岡 佑哉  
 11、保田與重郎の神道観 (名古屋大学大学院) 川合 大輔  
 12、徳川日本における中国徳教書の受容 (東北大学大学院) 柴田 一郎  
 13、近世「忠臣蔵」に見る「義」について (立命館大学大学院) 殿 暁星  
 14、『堀川波鼓』における武士 (お茶の水女子大学大学院) 小林加代子  
 15、『太平記秘伝理尺鈔』における倫理観 (東京大学大学院) 菅原 令子  
 16、幕府・諸藩における儒者登用の動向 (同志社大学大学院) 山本 晋平  
 17、閻齋学派における『家礼』の受容 (神戸大学大学院) 浅井 雅  
 18、山鹿素行と丘文莊との関係について (立命館大学大学院) 松川 雅信  
 19、細井平洲における教育と政治 (岡山大学大学院) 寶 兆鋭  
 20、鈴木貞斎の閻齋・仁斎批判と「心」の主張について (愛知教育大学) 前田 勉  
 21、後期水戸学における鬼神論の位置付け (明治大学) 清水 則夫  
 22、近世後期の藩校における「神」の祀り (国際基督教大学) 鈴木 孝子  
 23、中村惕斎における修養論 (東北大学大学院) 李 月珊  
 24、辻仏教史学における「宗教」認識 (東北大学) 高橋 恭寛  
 (第二云場)  
 (第三云場)

25、家永三郎における理想主義の展開  
（フートルダム女学院中学高等学校）池田 智文

26、滝沢克己と六〇年代末  
（関西大学大学院）小田 直寿

27、寛克彦の思想と「日本体操」  
（和光大学非常勤講師）丹波 博紀

28、一高における新渡戸稲造のイギリス流エリート教育の試み  
（総合研究大学院大学大学院）西田 彰一  
（大阪市立大学大学院）山本 慎平

29、中江兆民と内村鑑三  
（日本学術振興会）柴田真希都  
30、柏井園におけるキリスト教経験と文明評論  
（宮城学院中学校高等学校）今高 義也

31、石河幹明入社前『時事新報』社説の起草者推定  
（静岡県立大学）平山 洋

32、高山樗牛の「美的生活」論  
（国立国会図書館）長尾 宗典

33、田中正造の人間像  
（東京大学大学院）商 兆琦

34、福地源一郎における「自治」  
（奥羽大学非常勤講師）岡安 儀之

35、如來教と文政大地震  
（立命館大学大学院）石原 和

36、国歌八論論争と堂上歌学  
（第四会場）

37、森昌胤と『神道通国弁義』  
（立命館大学大学院）岩根 卓史  
38、『三輪物語』と「寓言」  
（皇學館大学）山口 剛史

39、失われた暦法を求めて  
（東洋大学非常勤講師）井関 大介  
40、江戸時代中期の法然伝研究  
（愛知学院大学）林 淳

41、大雑書に表現される「世界」観  
（浄土宗総合研究所）東海林良昌

42、松宮観山の兵書解釈  
（東北大学大学院）ポロヴニコヴァ・エレナ  
（東北大学）高橋 禎雄

元三大師信仰をめぐって  
（愛知学院大学）大野 出  
コーディネーター・司会

『法華経』と御園  
（学習院大学非常勤講師）島田健太郎  
（東北大学大学院生）芹澤 寛隆

和歌みくじの近代  
（成蹊大学）平野 多恵  
メディアにおける女子教育

コメンテーター  
（学習院大学非常勤講師）小平 美香  
（中村元東方研究所）加藤みち子

大会協賛企画として、東北大学史料館との共催で、記念展示「村岡典嗣展―日本思想史学と東北大学―」が両日にわたって東北大学史料館にて開催された。